



平成 30 年 9 月 3 日(月)
練馬区立開進第四小学校
校 長 河 崎 晃 二

開四小だより

9月号

やれば、できる

校 長 河 崎 晃 二

今年は、夏休みに入る前から例年になく厳しい暑さが続き、「熱中症」のニュースが毎日のように報道されました。夏休みに入ってから、酷暑が続き、台風の接近も多くありましたが、ご家庭ではいかがお過ごしになられたでしょうか。子供たちは大丈夫か気にしておりましたが、本日、学校に子供たちの笑顔が戻ってきて、安心しました。

夏休みに入ってからすぐの7月21日に「葉かげのつどい」が行われました。夕方からとはいえ、「熱中症」が心配でしたが、時間を遅らせるなど様々な配慮があり、また、多くの保護者にも参加していただき、無事に終わることができました。これは、一つの例ですが、このような保護者や地域の皆様のご指導や見守りがあったからこそ、子供たちが元気に2学期を迎えることができたと思っております。あらためて、皆様に感謝申し上げます。

*

さて、「やれば、できる。」という言葉に耳にすることがあります。私も子供の頃、母親から言われていた記憶がありますので、おそらく昔からある言葉なのでしょう。確かにやればできることは間違いありませんが、『やれば』という部分が意外と難しいことは、あまり話題になりません。実は、やること自体に相当な強い『思い』が必要なのです。

子供たちが、校庭でサッカーや野球を、体育館ではキャッチバレーの練習をする姿をよく見かけます。特に、夏の暑い時期の立っただけでも汗が噴き出してくるような時に練習を続けることは、誰にでもできることではありません。同じように、稲の水やりも当番が決まっていますが、当番以外でも世話をしている子の姿もありました。

この子供たちは、おそらく誰かに言われてやっているのではないと思います。サッカーや野球、キャッチバレーであれば「うまくなりたい」「試合に勝ちたい」という強い思いや気持ちが、稲の水やりは、自分たちが育てている稲の生長への関心が、こうした行動を支えています。

子供たちの思いや気持ち、関心を引き出すことによって、後は自分でやるようになります。逆に、思いや気持ち、関心がないまま無理矢理にやらせようとするれば、幼い頃はよくても、成長していくにつれ、むしろやらなくなってしまうことさえあります。

今日から2学期が始まりました。2学期には運動会や音楽会等の大きな行事もあります。子供たちのやる気を引き出していけるように教職員一同、努力してまいります。引き続き、保護者や地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。